

カバマダラ幼虫はトウワタ だけしか食べないか

濱川 陽
琉球大学付属小学校 1年

1. 目的・動機

1) 研究することは何? 《目的》

カバマダラはトウワタだけしか食べないのか、どうか調べます。

2) どうしてかなぁ・・・《動機》

カバマダラ（幼虫）はトウワタが大スキみたい。妹の幼稚園でカバマダラ幼虫がトウワタをすっかりたべてしまいました。

妹の美波が、

「このむしトウワタだけしかたべないのかな」といったので、ほかにも食べるはっばがあるか、ないか、しらべることにしました。

2. 方法・内容

1) どのようにして——方法

プランターにトウワタとほかの植物を植え小さな《トウワタの森》をつくり、カバマダラ幼虫が何を食べるか、観察しました。

- ① 植えたのは、はじめトウワタ6本とホウライカカガミ、サツマイモ、レタス、センニチコウ、ヒャクニチソウ、コスモス、ジュニアチェリイです。
- ② カバマダラ幼虫3匹とたまごが5ツブついた苗を5本、浦添公園からもらい幼虫と苗をいっしょに育てました。
- ③ トウワタが元気にそだつよう水やりに注意しました。
- ④ トウワタは葉の長さをはかり、数をかぞえました。
- ⑤ 幼虫にカバちゃん1号、2号、3号と名まえをつけ、トウワタを食べるようすをスケッチしたりカメラでとりました。
- ⑥ 卵がいつかえるのか注意しました。

けんきゅうけいかくひょう

8月初め～中頃まで	トウワタの森づくり／プランターに土を入れネットをはりトウワタとほかの植物を植える
8月中頃～10月まで	カバマダラ幼虫を育てて観察／幼虫だけでなくタマゴも採取

2) かんさつきろく——内容

小さな《トウワタの森》づくり

①はじめにカバマダラの幼虫たちがせいかつする小さな《トウワタの森》をつくりました。

《トウワタの森》という名まえは、けんきゅうのだいからつけました。ほかのしょくぶつもうえたけど、そうしました。

②トウワタは、さいしょ5本、あとから6本、みんなで11本うえました。はじめ葉っぱは、3、4まいくらいでしたが8月なかばをすぎるとたくさんになり、小さな森になりました。

③トウワタがりっぱに成長するように、しっかり水やりをして、葉っぱの数をかぞえ長さをはかりました。1本のトウワタに葉っぱが16まいもつきます。長いのは9センチありました。コスモスと百日草はかれましたが、ホウライカガミと千日紅は元気です。ジュニアチェリィもしげっています。ようちゅうは、森でなにをたべるのかなあ、とおもってドキドキしました。

カバちゃんのせいちょう

①8月24日、カバマダラ幼虫を3びき《トウワタの森》に入れてやりました。幼虫にはカバちゃん1号、2号、3号と名まえをつけました。1号はたいちょうが4センチ、2号は3.5センチ、3号は3センチです。

②9月30日、1号がサナギになってネットにくっついていました。森からはなれていたのへんなやつだとおもいました。

この日、タマゴから幼虫が2ひき生まれました。4号、5号です。幼虫はトウワタをモウレッツにたべまくります。11本のうち9本が1日でまるはだかになり、さきのほうのシンまでたべます。でも、ほかのしょくぶつは見むきもしません。

③9月5日朝、1号サナギの色が変わり、3時間くらいかかってチョウになりました。サナギは下の方からカラがさけ、しだいに羽が出てきました。1号はできたばかりの羽をひろげたりとじたり100回くらいくりかえし、うんどうします。ストローを出したり入れたりします。

きっと、とぶれんしゅうと花のミツをすうれんしゅうです。それからひらひら、ひらとうれしそうにとんでいきました。

④2号は8月31日にサナギになり、9月5日にチョウになりました。9月3日、ジュニアチェリィでサナギになっていた3号も9月10日チョウにヘンシン。

最後に9月5日、幼虫からサナギにヘンシンした4号は9月11日、チョウになりました。

5号は、トウワタのはっぱがなくなったので、森からいなくなってもどりません。食べものがないので死んでしまったのでしょうか。かわいそうです。トウワタをもっとうえればよかった。

3. わかったこと——考えたこと《結果》《考察》

①カバマダラはトウワタしかたべない。ホウライカガミもほかの花も食べない。

でもなぜだかわかりません。葉をさわったらトウワタの葉はつるつるでほかの葉はガサガサでした。そのせいかもしれません。

②サナギはトウワタだけでなく、どの葉っぱにもネットにもつきます。

③サナギの色がかわると、やがてチョウになります。

色が変わるのは、きっとチョウの羽の色がすけて見えるからだと思います

④チョウになるときは、とびかたのれんしゅうをします。ストローも出したり入れたりします。

羽をうごかす練習は、それぞれ回数がちがうみたいです。

1号は数えたけど、ほかはかぞえられませんでした。

ストローを出したり、ひっこめたりするのは、花のミツをすうれんしゅうかも。

⑤タマゴから幼虫になるまで何日かかるのか、しらべられませんでした。

カバマダラが、いつ、タマゴをうむのかわかればいい、とおもいます。

⑥幼虫がさなぎになるのは5日、さなぎがチョウになるのは1週間かかりました。

⑦小さな虫が《トウワタの森》を食べつくしてしまうのでおどろきました。

けんきゅうは、とてもたのしかったです。でも、あさねぼうしたり、カラテのけいこやスイミング、ピアノも、くもん、もあるのでけんきゅうできなかつたことがたくさんありました。つづけてけんきゅうしようとおもいます。